

令和7年度 第3回 長浜市図書館協議会

日 時：令和7年8月29日（金）13時30分から15時00分

場 所：ながはま文化福祉プラザ内 長浜まちづくりセンター1B会議室

出席者：山本 昭和委員、小北 晶男委員、井上 勝委員、藤居 みよし委員、鈴木 茂喜委員、森 治美委員、山内 真紀委員、福永 かおる委員、金澤 潔委員、車戸 利恵委員

事務局：川嶋生涯学習課長、森長浜図書館長、伊藤図書館企画サービス係長、三宅図書館資料係長、大村図書館総務係長、尚永

傍聴者：なし

【開会の辞】

定数10名全員の出席により会議成立の旨を宣言。

【会議の公開について】

附属機関の会議の公開等に関する要綱第2条の規定により、会議の公開を決定。

傍聴者なし。

【協議事項1 長浜市図書館基本計画(第2期)に基づく実施プランの令和6年

度外部評価について】資料1, 2, 3に基づき説明

（小委員会委員） 外部評価の総括

今回の外部評価については、委員の皆さんが昨年の小委員会で経験を積まれていることからスムーズに進むと思われたが、結果として2日を要した。担当職員からの説明に続き、委員間で活発なやり取りが行われた。

目標1—指標項目1、個人貸出冊数について

- ・初めの評価項目ということもあり、毎年時間を要する。
- ・貸出冊数は図書館の取組の集大成であるが、100万冊の目標に対して82万冊にとどまった。評価基準では8割達成といえるが、最終の目標値からは乖離が見られる。
- ・職員の自己評価や課題認識が十分に見えてこないとの意見が出た。
- ・事務局からは「予約図書のみ借りる人が多い」「コミックのセット貸出を中止した」「新し

く図書返却サービスを導入した」などの説明があった。

- ・委員からは、分析が不足しているのではないかと指摘があり、評価を2日目に持ち越すこととなった。
- ・選書やリクエストの対応、定評のある絵本の買替等について議論を交わした。
- ・大活字本については、委員の中にも存在を知らない者がいたことから、PRの必要性が指摘された。
- ・全体の評価はBとした。

目標1－指標項目2、予約・リクエスト年間受付件数について

- ・予約図書を受け取るだけで書架を回らない利用者が多いとの状況が示された。
- ・予約件数が多ければいいということではなく、貸出増や新規利用者、リピーターの獲得にどうつなげるかが課題。
- ・「市民誰もが利用できる図書館」としての取り組みに期待したい。

目標2－指標項目2、郵送貸出件数について

- ・目標には届いていないためC評価との意見もあったが、利用者数が増加し、令和8年度の最終目標をすでに達成していることから、B評価とした。

目標2－指標項目3、関係課や機関と連携した年間事業数について

- ・連携先が福祉系に偏っているため幅広い事業に期待したいとの意見があった。

目標3－指標項目1、園への団体貸出数について

- ・目標数値には達していないが、令和8年度の最終目標をすでに達成している。
- ・昨年度の協議会で意見があった、「資料の鮮度の確保」についても改善され、利用園数も増えていることから、B評価とした。

目標3－指標項目2～4、児童・中学生・13～18歳読書冊数について

- ・本を読まない小中学生が増えているのは、長浜市に限らず全国的な傾向。
- ・学校貸出を開始したが、まだ利用は少ない。
- ・数値目標と乖離している部分は、同じ取り組みをしても効果をあげられないのではないか、ということで議論を交わした。
- ・13～18歳の利用については「本を借りなくてもいいから図書館に来てもらう」程度の気軽な利用を認め、学校や家庭とは異なる新たな居場所としての提供を検討すべきではないかと意見があった。

目標4－指標項目2、博物館や資料館と連携した年間事業数について

・資料提供や展示など、受け身にとどまっている。図書館から積極的に企画し事業展開につなげることを期待したい。

目標5、市民とともに作る図書館について

- ・市民との多様な事業に取り組んでおり、評価できる。
- ・ボランティア支援についても、市民の要望に沿った形で行われている。

「市民の身近に図書館サービスがある体制づくり」について

・余呉地域へのサービスについて、職員個人の努力によるところが大きいのではないかとという指摘があった。

蔵書更新率について

- ・除籍が多く、業務量としても課題があるのではないかと意見が出た。
- ・最終的には令和8年度目標に近づく見込みであり、今後の展開に期待したい。

報道機関への年間情報提供数について

・指標と重点目標が結びついていないのではないかと意見があった。関連部署との連携や、新たな情報発信を期待する。

まとめ：内部評価を修正した項目もある。AやBの数を比較するということではなく、各項目について議論を経たうえで、評価を行った。

（会長） ほかの委員からは補足あるか？→なし

（委員へ） この評価でよいのか？疑問などはあるか？

（委員） 8ページ「利用する園は増えて園おり」→「園」の誤字修正

（事務局） 8ページ「14園」→「13園」に修正。

R5年の12園から、増加してはいる。冊数に変更なし。

（会長） 最終目標を130万冊と設定しているが、貸出冊数が毎年減少している現状をどのように考えているか。

（委員） 気になっている点であり、職員の中でこの状況をどう受け止めているのかということが議論となった。

(委員) 子どもたちからは「紙の本がなじまない」という声もあり、電子書籍の普及が影響しているのではないか。学校では読書の時間を設けてはいるが、やはり電子への移行が一因と思われる。

(会長) 若い世代が紙の本を読まないという話はよく耳にする。電子書籍なら読むのかどうかは不明だが、図書館として電子書籍の導入を検討しているか。

(館長) 新しいシステムに移行しても、電子書籍を導入する予定は現時点ではない。

(委員) それで貸出数を取り戻せるのか、真剣に考える必要がある。年齢・地域・性別など比較できるデータがあるはずで、数字を分析して「どの層で減少しているのか」「どの部分に対応すべきか」を明らかにしなければならない。20%の減少は大きい。漠然と受け止めるのではなく、しっかりと分析し、一つ一つのサービスを見直す必要がある。

(委員) 「親子で読書」についてお話ししたい。自分の幼稚園では参観日の後に遊戯室に多くの本を並べ、小さな図書館のような空間を作ったところ、保護者から「すごい」という声があった。ジャンルはある程度固まってしまうが、「今まで選んでない本を子どもが選んでいる」「ぜひまた行きたい」という声も聞かれた。また、他の認定こども園では、保護者が「図書館に行きたい」という思いを持ちながらも、就労形態や自宅からの距離のために借りることが難しいという声があった。「借りたいけど借りられない」状況をどう改善できるか。配達などが実施できればよいが。

(委員) 図書館だけの努力では貸出冊数の増加は難しい。家庭や保護者全体が読書を大切にする姿勢を持って子どもを育てていくことが不可欠である。

(会長) この課題は子ども読書活動推進会議でも進めていく必要がある。

(その他、意見なし。外部評価案の確定)

(事務局) お忙しい中2日にわたり協議いただき感謝申し上げます。委員の皆様同士の議論や疑問を通じ事務局としても多くを学ばせていただいた。

この後、会長に総括の文章を作成いただき、それを掲載したものを最終稿として確定させていただきたいがよろしいか。

(会長、委員承諾。)

【協議事項 2 令和 6 年度の事業報告について】資料 4 に基づき説明

(事務局) 資料 4 から一部説明させていただく。

- ・ P 3 組織図、P 4 職員数・職員配置について
- ・ P 2 8 (6) (7) 団体貸出の利用団体数・貸出冊数→経年比較可能なデータを新たに掲載。
- ・ P 3 0 予約リクエスト割合→増加傾向
- ・ P 3 1 ③他団体との～→市民協働部としての取り組みであるため、新たに掲載。
- ・ P 3 9 ③乳幼児サービスボランティア→新たな取り組み
- ・ P 1 4 決算→9 月議会で承認前のため、資料の取扱いにご注意願いたい。

(委員) 昨年度の結果をどう評価するか？ P 2 8、個人貸出冊数が年度別・館別で掲載されており、合併前後の数値が明らかになっている。浅井・びわ図書館はピーク時の半分以下となっており、合併以前の方が貸し出し冊数が多い。長浜図書館が集客率を上げていることもあるが、地域別にどの程度、どこの図書館に利用者が動いたのか、が分かるのであれば考えていただきたい。考えていかないと、数字の減少は止まらない。広域な長浜市の中で、長浜図書館だけに集中するのはあまりよくない。

コンピュータシステムを更新することで打ち出せなくなるデータがあるのなら、更新前に紙媒体ですべてのデータを残しておく必要がある。

P 3 0 予約リクエスト件数について、スマホから簡単にできるので、人気の本につく予約は 1 0 0 件超も珍しくない。その中でキャンセル率がどのぐらいかもお考えいただきたい。キャンセルは、消費機会の消失を意味する。借りられないから、キャンセルするということが出てくる。

今年度、第 1 四半期のデータはすでに出ているはずだ。まずは大きく比較して、今年度の取り組みが適切だったかどうか、ということのある程度の判断材料になる。そのあたりの検証は必要だろう。

(館長)

- ・データ抽出について：9/23～9/30の休館期間の初日を抽出日にあてて、すべてのデータを打ち出す予定である。
- ・キャンセル率について：調べており、抽出することは可能である。
- ・第 1 四半期の利用実績について：調べているところだが、空調故障による利用減がある。

(会長) 地域の利用者の分析については？

(館長) 地区ごとに、実利用者数を出すことは、時間がかかるが、可能である。

（会長）出してもらおうとよいかと思う。

（委員）職員の継承について。今後はどうなるかわからないが、今の6館体制を基本に考えると、この職員数では厳しいだろう。職員育成についても十分お願いしたい。

（会長）貸出冊数減少は人口減少の影響もある。人口割合で見ると、経年で減少は少なく、維持できていると言うこともできる。実質貸出冊数が減少していることから、図書館に来ても借りなかった人が多い可能性もある。

予算が減っているのに、購入図書の平均単価が高くなっているのはなぜか？

（館長）本の値上がり幅が非常に大きいことが影響している。図書の購入予算は大きく変わっていない。

（会長）寄贈を募る、安価な本を購入するなどの工夫も考えられるのでは。

（委員）P13の蔵書回転率について、人気の本と全く出回っていない本を分けて算出することはできるのか？平均すると1.1という数値になってしまうが、実際は繰り返し借りられている本もある。また、貸出不可の本も、この蔵書回転率に含まれているのか？

（委員）含まれているが、貸出できない本は極めて少ないので、それによる影響は少ないと思われる。

（会長）ただし書庫資料の影響は大きい。指標としては「開架の」蔵書回転率とした方が、わかりやすいのではないか。

（委員）図書館の購入ルートは？

（事務局）図書館流通センターの在庫から選書し、書店組合から購入している。

（委員）図書の単価が高いということは、需要が少ない専門的な本なのか？と思ってお尋ねした。

（委員）通常、極端に専門的なものは除外された形で、毎週書籍のリストが送られてくる。その中からデータ上で発注し、装備されたかたちで受け入れをし、棚出しを行っている。少なくとも、毎週受け入れる数（1週間に300冊ほど）の分は、除籍あるいは書庫への移動が必要になる。

(会長) 学校の場合はどこに発注している？

(委員) 学校司書が選書し、予算内で、地元の書店で購入している。

(委員)

- ① 浅井・びわ図書館の空調故障により、他館の利用が増えている傾向はみられるのか？
- ② びわ図書館では一部空調を設置されたということは、今後、空調を直し図書館を存続させる方向なのか？

(館長)

- ① について、多くの利用者が長浜と高月に流れている印象。虎姫には、数字として表れていない。
- ② について、全館空調になっているため修繕は数千万円規模。湖北も空調の効きが悪い状況。築20年以上の館もあり、設備の不具合が進行していることや、利用冊数の減少・予約リクエストの増加など、従来とは異なる図書館の動きも含めて、今後の図書館の在り方については次期計画の中で謳っていきたい。

【協議事項 3 長浜市図書館基本計画(第3期)の策定について】資料5, 6に

基づき説明

(事務局) 総務教育常任委員会の承認を得て着手する。市民からの意見も伺いたい。懇談会には図書館協議会委員の皆様に参加いただきたい。

(委員) 懇談会委員＝協議会委員なのか？

(事務局) 懇談会要領第3条により、そのようになっている。

(館長) 懇談会要領第4条により、都度協議内容に応じて関係機関の出席もあり得る。

(会長) 懇談会の座長は改めて選出するのか？図書館協議会の会長がそのままなるのか？

(館長) 委員の皆様には承認をいただいたうえで、会長にお願いしたいと考えている
→懇談会委員および座長について、会長・委員ともに承諾。

（委員）図書館協議会委員の任期終了に伴い、懇談会委員も変わるのか？その都度、委員および座長の選出を諮るのか？

（館長）その予定である。

（委員）図書館基本計画の最上位計画として市の総合計画があると思うが、生涯学習課などで、教育等に係る上位計画はあるのか？そういった上位計画に書かれていることは、計画策定に着手するまでに整理していただきたい。

（委員）今年度の懇談会の回数は？

（事務局）１２月・３月の２回を予定している。

【その他連絡事項】

- ・ ９月２３日（火）から３０日（火）まで、コンピュータシステム入替作業のため市内図書館全館休館のお知らせ
- ・ 高月図書館 子育て応援図書館プロジェクトのお知らせ
- ・ 第３期計画策定にかかる懇談会日程調整

【閉会挨拶】

（生涯学習課長）

本日は、長時間にわたり貴重なご意見を賜り、心より感謝申し上げます。小委員会においては、令和６年度実施プラン内部評価に関し、多角的なご意見・ご助言をいただいた。図書館を取り巻く環境変化の中、第３期基本計画の策定を進める重要な時期にあり、引き続きご指導をお願いしたい。今後も市民にとって身近で利用しやすい図書館をめざし、職員一同取り組んでいく。